

宇治田原山手線促進だより

都市計画道路宇治田原山手線 平成33年度完成に向け一部事業化



啓発イベントに参加いただいたみなさん

宇治田原山手線の 一日も早く完成を目指して



京都府山城広域振興局との意見交換



新調した横断幕を設置

全線事業化に向け引き続き要望



山田京都府知事と西谷町長、山手線住民会議メンバー

平成三年度完成に向け事業が進められています。みなさまのご協力をよろしく願っています。

都市計画道路宇治田原山手線の早期完成を求める住民会議（会長・森田市治町商工会長）（以下住民会議と表記）では、平成二六年二月の設立以降、横断幕やのぼり旗を設置し、住民のみなさんとともに宇治田原山手線早期の完成に向けた機運を高めるとともに、京都府など関係機関に対し、早期事業化を訴えてまいりました。

そうした中、京都府が平成二九年度から宇治田原山手線の残区間の内、供用済みの「主要地方道宇治木屋線南バイパス」から、本町

賢田及び立川地域にまたがる「新市街地」までの区間を第1期整備区間として、新規事業化を決定していただきました。

現在路線測量の実施や地権者のみなさんに向けた説明会などが開催されるなど平成三三年度完成に向け、着々と事業が進められています。

住民のみなさまには、本事業にご理解とご協力をお願いいたしますとともに、関係者のみなさまには事業のスムーズな進捗に特段のご協力をよろしく願っています。

引き続き知事や府関係機関への要望活動も実施



新たに作成した啓発ポスター

また、山手線の事業実施主体である京都府山城広域振興局との情報交換会（十一月）や山田知事への要望活動（一月）も実施し、事業の順調な進捗を確認するとともに、事業化区間の一日も早い完成と引き続き山手線全線事業化を求めるみなさんの熱い思いを届けてまいりました。

